北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	研究指導Ⅰ	科目コード	8114	単位数	2
担当者名	相浦　宣徳	開講時期	１後	開講年次	1年次

授業の到達目標及びテーマ

研究テーマ及び研究内容を検討し、博士論文の作成に繋がる「研究計画」を作成する。

授業の概要

対象分野における学生の問題意識の抽出、文献調査、有用性・新規性・独創性に関する検証を経て、研究テーマを設定する。大まかな骨子を組み立てた後、研究計画を作成させる。「研究報告会」でその段階おける成果を発表させ、討議内容に基づき研究内容・研究計画を再検討する。研究指導・講義は日本語で行います。

授業計画

１週目～４週目
問題・関心の明確化を行う。対象分野における学生の問題意識の抽出を目的とした意見交換を行う。主要な参考文献を指示する。

５週目～８週目
研究テーマを設定し、文献調査に基づき研究テーマの有用性・新規性・独創性を検証する。これを繰り返し、最終的な研究テーマを設定する。この段階では、論文執筆の意義を絶えず意識するよう指導する。
「東アジア共同研究プログラム」に参加する学生には、研究テーマと本プログラムとの関連性について指導し、研究の具体的必要性を理解させることに努める。

９週目～11週目
これまでの文献調査に基づき、研究テーマ、背景、目的などを整理する。大まかな骨子を組み立て、これに基づき「研究計画」を立案する。立案プロセスを通じ「研究計画」の立案方法を指導する。

12週目・13週目
「研究報告会」で用いる発表資料を作成する。発表練習などを通して、発表資料の作成方法、発表方法、質疑応答などに関する指導を行う。
「研究報告会」でこれまでに整理した内容を発表し、担当教員、学生同士で討議する。5,000文字程度のサマリーを提出させる。

14週目・15週目
「研究報告会」での討議に基づき研究内容を整理し、骨子と研究計画を再構築する。

テキスト

特になし。研究テーマに即した参考資料をテキストとして適宜用いる。

参考書・参考資料等

研究テーマに即した参考資料を適宜紹介する。

成績評価の方法・基準

研究会報告での発表や指導過程での成果に基づいて総合的に判断する。課題に取り組む姿勢や課題等の進捗度合いも都度チェックして、評価時の判断材料とします。遅刻・欠席回数が2回を超えた場合は成績評価の対象外とします。

更新日付

2026/01/29 04:53